

全 員 協 議 会 会 議 録

開催日時	平成 28 年 9 月 1 日 (木) 11 時 05 分 ～ 12 時 05 分
場 所	第 3 常任委員会室
協議事項	第四次宜野湾市総合計画基本構想 (素案) について
出席議員 (欠席議員)	21 名 (欠席議員: 大城議長、宮城克議員、宮城勝子議員、桃原功議員)
当局出席者	国吉企画部長、松本企画部次長、宮城企画政策担当主幹、本永企画政策係長
議会事務局 出席者	宮城局長、中村、伊佐、渡嘉敷、野嶋
会議概要	<p>《協議事項の件について、当局から説明を受ける。》</p> <p>【質疑の主な内容】</p> <p>○呉屋等 議員 第四次宜野湾市総合計画基本構想 (素案) の 10 ページの (9) 基地問題・平和に係る動向【社会動向】の 1 行目に「沖縄には現在 32 の米軍施設があり、その土地面積は日本にある米軍施設の約 75% を占めています」とあるが、正確には米軍専用施設の誤りではないか。また、国土面積のわずか 0.6% を占める沖縄県に米軍専用施設の約 75% が集中している旨を追記した方がよいのではないか。</p> <p>17 ページの人口フレームについて、宜野湾市のホームページには平成 28 年 7 月末現在で 9 万 7,886 人となっている。下部の表によると、2020 年までに 312 人しか増えない計算となっているが、過去の人口増のペースから考えると実態と違う推計となっているのではないか。</p> <p>○宮城 企画政策担当主幹 社会人口問題研究所の推計結果を載せている。これは平成 22 年の国勢調査を基に推計されているものであり、公に公表できる数値としては同研究所による試算結果のみである。</p> <p>○呉屋等 議員 昨年、同様の説明を受けた時にも指摘したが、宜野湾市の実態に即した推計を基に計画を策定する必要があると考える。</p> <p>○宮城 企画政策担当主幹 昨年ご指摘いただいたことを踏まえ、人口を実数に合わせて再度試算した。過去の人口の伸び率を基に独自に計算した結果も踏まえ、平成 36 年度の将来人口フレームの目標を 10 万人に設定した経緯がある。</p> <p>○呉屋等 議員 市民から説明を求められた時にしっかりと説明できるよう計画を策定していただきたい。</p> <p>○知念秀明 議員 同じく 17 ページの人口フレームについて、西普天間住宅地</p>

区に今後整備される住宅も踏まえて試算するべきではないか。

また、第5章の内容について、第三次総合計画とほとんど変化がない。これから宜野湾市としてどうしていくかについても記載するべきであると考え。

○宮城 企画政策担当主幹 西普天間住宅地区については、現在支障除去作業を行っているところであり、今後8年間で住宅地の整備は難しいと考えられることから、次の計画から反映されるものと考え。第5章の内容については、精査し、修正を検討していきたい。

○我如古盛英 議員 17ページの人口フレームについて、実態とかけ離れているように思う。市民に説明できるよう、計画を策定していただきたい。

○宮城 企画政策担当主幹 17ページの人口フレームの表については、昨年度策定した宜野湾市人口ビジョンから引用しており、変更は難しいが、16ページの人口フレームの考え方の部分でわかりやすい内容を検討してまいりたい。

○岸本一徳 議員 人口が10万人を超えると行政としての役割はどのように変わるのか。また、2ページの計画の期間について、前期基本計画が終了した時点で後期基本計画の見直しを行うことも予定しているのか伺いたい。

○宮城 企画政策担当主幹 行政としての役割は特に変化はないものと考えている。ただし、車庫証明が必要となるなど、市民生活への影響はある。前期基本計画と後期基本計画の関係性については、21ページに記載されている6つの基本目標を達成するために前期基本計画が終了する最終年度に見直しを行い、後期基本計画に反映していくこととなる。

○岸本一徳 議員 別紙の第四次宜野湾市総合計画策定スケジュール(案)によると今年度の3月議会で基本計画の審議を予定しているとあるが、これは前期基本計画のみと考えてよいのか。

○宮城 企画政策担当主幹 今年度は前期基本計画のみの議決をいただく予定である。

○国吉 企画部長 今回いただいた意見を参考にさせていただき、よりわかりやすい内容に修正してまいりたい。

以上